

令和2年度 年間事業計画

萩原保育園

令和2年度は昨年度に引き続き、子どもの主体性を大切にする保育環境を整え、子どもの目の前にいて何かをしてあげるのではなく、子どもの傍らに寄り添い、困ったときに一緒に困ったねと言える謙虚さを持ちながら、応答的共感的保育に努めていく。

又、様々な研修等で得た知識を園内研修を通し学習し、全職員が同じ認識の元、保育に携えるようにする。

【令和2年度の重点的取り組み事項】

1. 保育内容の向上

- (1) 隔月毎に保育者同士の話し合いの場を設け、子どもの姿を通して語り合うことにより保育の振り返りを積極的に行い、保育の質の向上に努めていく。
- (2) 1つ1つの行事が子どもの育ちのどの部分に必要なのかを検討し、見直していく。
(目標に向かって頑張る力・他の人とうまく関わる力・感情をコントロールする力等に結びつくようなことをねらいとする)
- (3) 縦割り保育の時間増加及び0歳児クラス担当制導入に向けての計画・実行
- (4) 園内研修の取り組みの充実
 - ・様々な保育の記録(写真、動画等)を用いて問題提起し、職員が主体的に参加し学ぶことの出来るような工夫を行う。
 - ・職員自身の学ぶ意欲が高まるよう、研修計画を職員と共に作り上げていく。
- (5) 当法人内6施設における法人内研修の取り組み
 - ・処遇改善等加算Ⅱ対象職員に対し、法人内研修を年5回実施し、各担当分野の職務内容について職員がより深い知識を持てるよう研修を実施する。

2. 円滑な園の運営と充実を図る

- (1) 地域交流
年4回地域の年長者との交流や近隣の老人施設との交流の充実を図る。
- (2) 未就園児交流
子育て支援「あそぼう会」の継続・青山市民センターでの出前育児を行う。
- (3) 保小の連携
青山小学校との交流の充実

3. エコ活動の取組

リサイクルの取組→ダンボール・プルタブ・ペットボトルのキャップの青山市民センターへの持ち込みを継続していく。

4. 施設整備及び管理

- (1) 空調設備が老朽化により、故障が続き再度故障が生じると部品がないなど修理が難しくなるため、全面改修を検討している。
- (2) 園舎が建って15年目に入り、今後ドアや窓・門などの修繕箇所が増えることが予測される為、中長期的に計画を立てて、取り組んでいきたい。
- (3) 給食室の手狭さから発生する問題を解消する為に、新たに収納庫購入を検討する。

【平均児童数／4月入所予定児童数】

定員130名

年齢別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平均児童数	11名	21名	21名	21名	22名	23名	119名
4月入所予定児童数	8名	15名	24名	23名	21名	19名	110名

【一時保育利用状況 見込数】

未満児		以上児		合計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
10件	20,000円	0件	0円	10件	20,000円

※通常保育の集団構成と異なることから、一人一人の子どもの心身の状態、保育場面への適応状況などを考慮して保育するよう心がける。

保育園に来た子どもにとって気持ちよく、ゆったりと過ごせるように心がける。

≪ 職員配置 ≫ 必要に応じて日々雇用職員を雇用

【延長保育利用状況 見込数】

利用登録人数(年間)	200名	平均実利用者数	8名
------------	------	---------	----

※長時間保育になるので、ゆったりとくつろげる雰囲気作りに心がける。

縦割り保育の利点を十分に活用し、保育を行う。

≪ 職員配置 ≫ 正規保育士 1名(時間外にて対応)・臨時保育士 1名

1. 保育理念

児童福祉施設として乳幼児の利益を考慮し、安全で健全な心身の発達を図り一人一人の特性に応じた人間性豊かな児童の育成を目指します。

2. 保育方針

- (1) 十分に養護の行き届いた温かい環境をつくる。
- (2) 愛情と信頼関係をはぐくみ、人間性の輪を広げる。
- (3) 園外保育や地域の行事を積極的に取り入れる。
- (4) 常生活の会話を通して豊かな言葉を養う。
- (5) さまざまな体験を通して豊かな感性、創造性を培う。

3. 保育目標

一人一人の子どもの個性を大切にしながら、心身共に健やかに生活し、将来健全な社会人に育つための基本を培う。

- ・ 健康で元気に活動できる子ども
- ・ 自分で考えて行動することができる子ども
- ・ 思いやりのある優しい心をもつ子ども
- ・ 人の言葉や話などを聞き自分で思ったことを伝えられる子ども

○ 保育内容

年齢（月齢）別に指導計画を立て、子どもの「やりたい」気持ちを尊重しながら安定した生活が送れるようにする。

- ・ ゆったりとした楽しい雰囲気の中で、基本的な生活習慣が身につくようにする。
- ・ 友達との遊びを通して、社会性・協調性・仲間意識・友達への思いやりが育つようにする。

○ 行 事

年間行事(地域交流) 予定（別紙1の通り）

- ・ 園外保育、水遊び遠足等は事故防止対策について職員間でよく検討してから実施する。
- ・ 生活発表会、運動会等は一人一人を大切にしながら全児を公平に参加できるようにする。

○ 安全対策

- ・ 避難訓練を毎月1回、多様な場面・時間を想定して行う。年1回は消防署立ち会いの総合訓練を行う。
- ・ 交通安全指導及び設置遊具の安全指導を行い、合わせて安全点検を随時行う。
- ・ 施設内外の安全点検に努め、安全対策のために全職員の共通理解や体制づくりを図る。
(様々な災害に対してのマニュアル等の再点検と修正、不審者の立ち入りなどの緊急時の体制、火災発生時の体制、地震・風水害時の体制等)

- ・ 「ヒヤリ・ハット」の報告を大切に、園全体で情報を共有し安全保育に努める。
- ・ 送迎時における安全確保のため、駐車場内での子どもの車の乗降や手をつないで園内に入ることの周知徹底をはかる。
- ・ 与薬については、医者が出した薬のみに限る。その際必ず所定の用紙に記入するよう指導する。
- ・ 食中毒等については、常に衛生管理に気を付け、調理員については特に食中毒予防の三原則を守るように指導する。

○ 地域との交流

- ・ 地域の在宅乳幼児を園に招き、交流をもつ。
- ・ 地域の年長者を招待し、交流を行う。
- ・ 小学校との交流体験を行う。
- ・ 卒園児を招待し、在園児との交流を深める。

○ 保育時間

保育標準時間 午前7：00から午後6：00まで

保育短時間 午前9：00から午後5：00まで

(保育時間を超える時間は、延長時間として対応)

○ 保育担当

クラス担当保育士、調理業務担当、事務担当を定める。

○ 職員研修

- ・ 全国大会をはじめ県、市が行うものまた、保育士会の各種研究研修会に参加する。参加した者は報告を行うと同時に、園内研修へと広げていく。
- ・ 毎月の職員会議において、指導計画の立案、問題点について話し合い共通理解をもつ。

4. 保育担当者 (別紙2の通り)

5. 保育設備

(1) 敷地	北九州市八幡西区青山一丁目7番50号	1, 162. 73㎡
(2) 建物	鉄筋コンクリート造 2階建	819. 75㎡

6. 資金計画

通常経費は、

- ・ 委託費収入
- ・ 利用者等利用料収入
- ・ 補助金事業収入
- ・ その他の事業収入
- ・ 借入金利息補助金収入
- ・ 受取利息配当金収入
- ・ 受入研修費収入
- ・ 利用者等外給食費収入
- ・ 雑収入

等によるものとする。

【 令和2年度主な行事 】

実施月	行 事	参 加 者	場 所・会 場
4 月	令和2年度 入園・進級式・ 保護者説明会・クラス懇談会→中止 固定遊具安全指導 交通安全指導	全児・保護者 全 児 全 児	保 育 園 内 保 育 園 内・園 庭 保 育 園 内・園 庭
5 月	こどもの日の集会 健康診断 1回目 職員健康診断 シルエット劇観劇 不審者訓練	全 児 全 児 職 員 年 長 児 全 児	保 育 園 内 保 育 園 内 健 康 セ ン タ ー 未 定 保 育 園 内
6 月	保育参加・給食試食会 歯科検診 卒園児交流会	全児・保護者 4・5歳児 全児・卒園児	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内
7 月	七夕まつり プール開き おまつりごっこ 個人懇談会	全 児 全 児 全 児 保 護 者	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内
8 月	個人懇談会 プール納め	保 護 者 全 児	保 育 園 内 保 育 園 内
9 月	大運動会（卒園児・地域交流）	全児・保護者・卒園児	青 山 小 学 校
10月	健康診断 2回目 青山小学校音楽会 青山市民センター祭り参加 消防総合訓練 親子ふれあい遠足	全 児 4・5歳児 3・4・5歳児 全 児 全児・保護者	保 育 園 内 青 山 小 学 校 青 山 市 民 セ ン タ ー 保 育 園 内 未 定
11月	親子クッキング 秋の遠足 車椅子バスケット観戦 生活発表会	年長児・保護者 全児・年長児 年 長 児 全 児	保 育 園 内 未 定 総 合 体 育 館 保 育 園 内
12月	クリスマス会 ミニ発表会 もちつき大会 年末地域清掃	全 児 全 児 全 児 全児・地域住民	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 周 辺

実施月	行 事	参 加 者	場 所・会 場
1 月	縦割り保育 郵便ごっこ たこ作り・たこあげ大会	3・4・5歳児 3・4・5歳児 年 長 児	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内
2 月	節分・豆まき 作品展・おみせやさんごっこ 保育参加・講演会 プラネタリウム見学	全 児 全 児 全児・保護者 年 長 児	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 児 童 文 化 科 学 館
3 月	就学前交通安全指導 お別れ遠足 お別れ会食 お別れ式 卒園式 修了式	年 長 児 全 児 全 児 全 児 4・5 歳 児 在 園 児	交 通 公 園 未 定 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内

1. 月例行事

- ・ 誕生会 ・ 避難、消火訓練（不定期～地震・水害）
- ・ 身体測定 ・ 音楽指導（3歳以上児）
- ・ 給食関係職員〇ー157検査 ・ 定例職員会議
- ・ 園内研修 ・ 図書貸し出し
- ・ 毎月始め～園便り・クラス便り（必要に応じて）・献立表・給食便り発行

2. その他

- ・ 一日保育士体験、中・高生の保育園実習
- ・ 小学校との交流（年間4回程度） ・ 萩原遊ぼう会（年間6回程度）
- ・ 年長者交流会（年間4回程度） ・ 老人施設訪問（年長児）
- ・ お泊り保育（年長児）
- ・ 消防設備機器点検 ・ 設置遊具等の安全点検
- ・ 月曜集会（3歳以上児）・月曜集会体操（全児）
- ・ 個人懇談
- ・ ボランティア体験学習受け入れ
- ・ 青山まちづくり協議会に参加し、地域との連携を図る。
- ・ 事業協会 施設長定例会議及び主任保育士会議は必要に応じて開催する。

3. 職員研修については、保育者、調理員としての資質向上の為一人でも多く各種研修会に参加できるようにする。

4. 青山市民センター及び育児サークル等の活動に積極的に参加し、子育て支援を行う。

※ 令和2年度保護者説明会・クラス懇談会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、中止し、入所面接及び書面にて説明を行う。